

# 第15回

## 伊予銀行決算説明会 & 特別講演会





伊予銀行

# 伊予銀行の概況

# 伊予銀行のプロフィール



本店所在地	愛媛県松山市
創業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行)
資本金	209億円(発行済株式総数323,775千株)
従業員数	役員19人、職員3,064人(臨時を除く) (なお、役員は平成27年6月26日の株主総会後は13人)
拠点数	国内151か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港)
	海外駐在員事務所3か所(ニューヨーク、上海、シンガポール)
外部格付	AA-: 格付投資情報センター(R&I)
	A: スタンダード&プアーズ(S&P)
	AA: 日本格付研究所(JCR)

連結総自己資本比率(国際統一基準)	15.81%
連結子会社数	13社
連結従業員数(臨時を除く)	3,380人

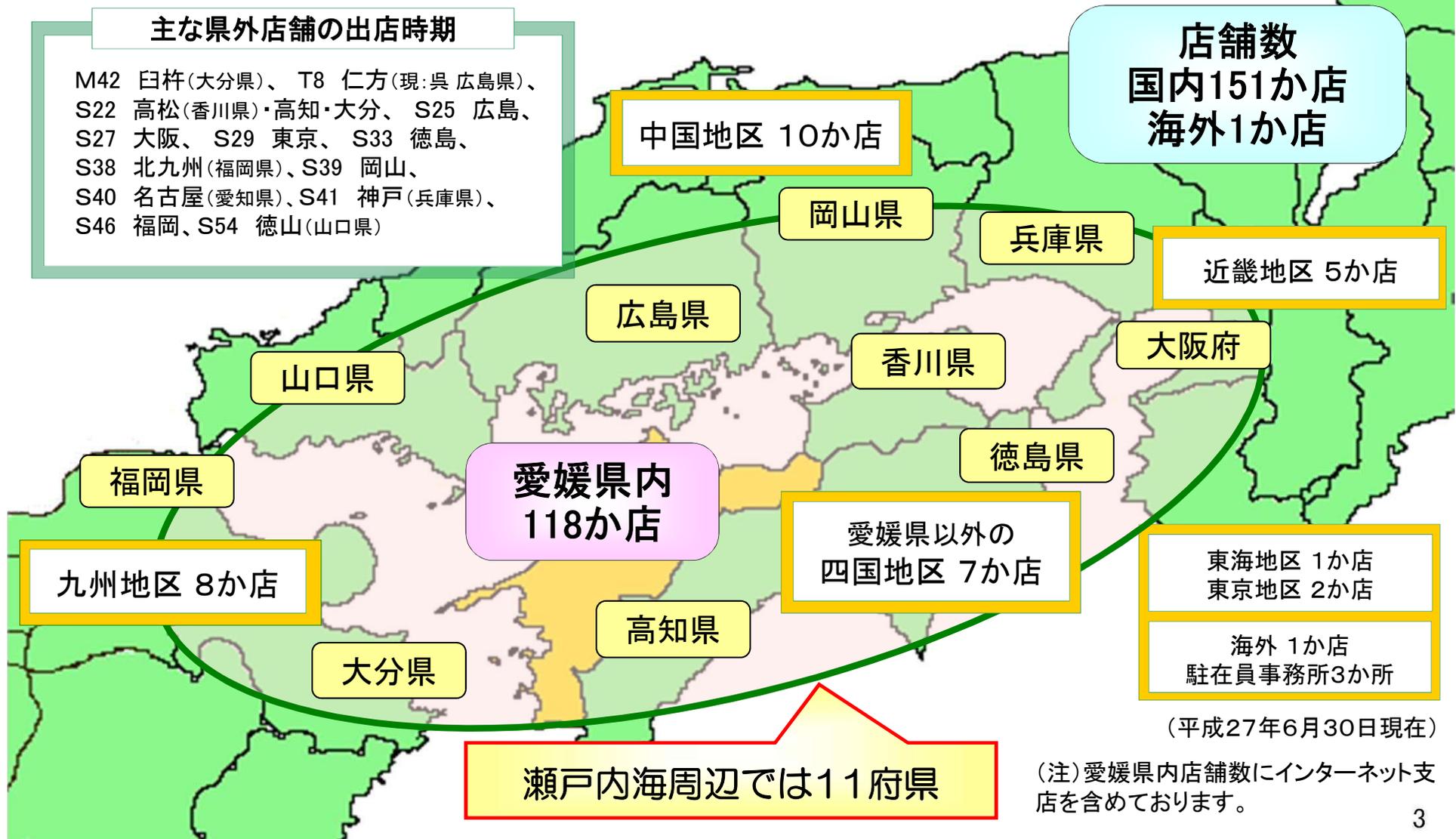
<平成27年3月31日現在>

# 店舗ネットワーク

- 瀬戸内圏域を中心に、**13都府県**に店舗を配置しております。
- 瀬戸内に根ざした **地方銀行第1位の広域店舗ネットワーク**を構築しております。

## 主な県外店舗の出店時期

M42 臼杵(大分県)、T8 仁方(現:呉 広島県)、  
S22 高松(香川県)・高知・大分、S25 広島、  
S27 大阪、S29 東京、S33 徳島、  
S38 北九州(福岡県)、S39 岡山、  
S40 名古屋(愛知県)、S41 神戸(兵庫県)、  
S46 福岡、S54 徳山(山口県)





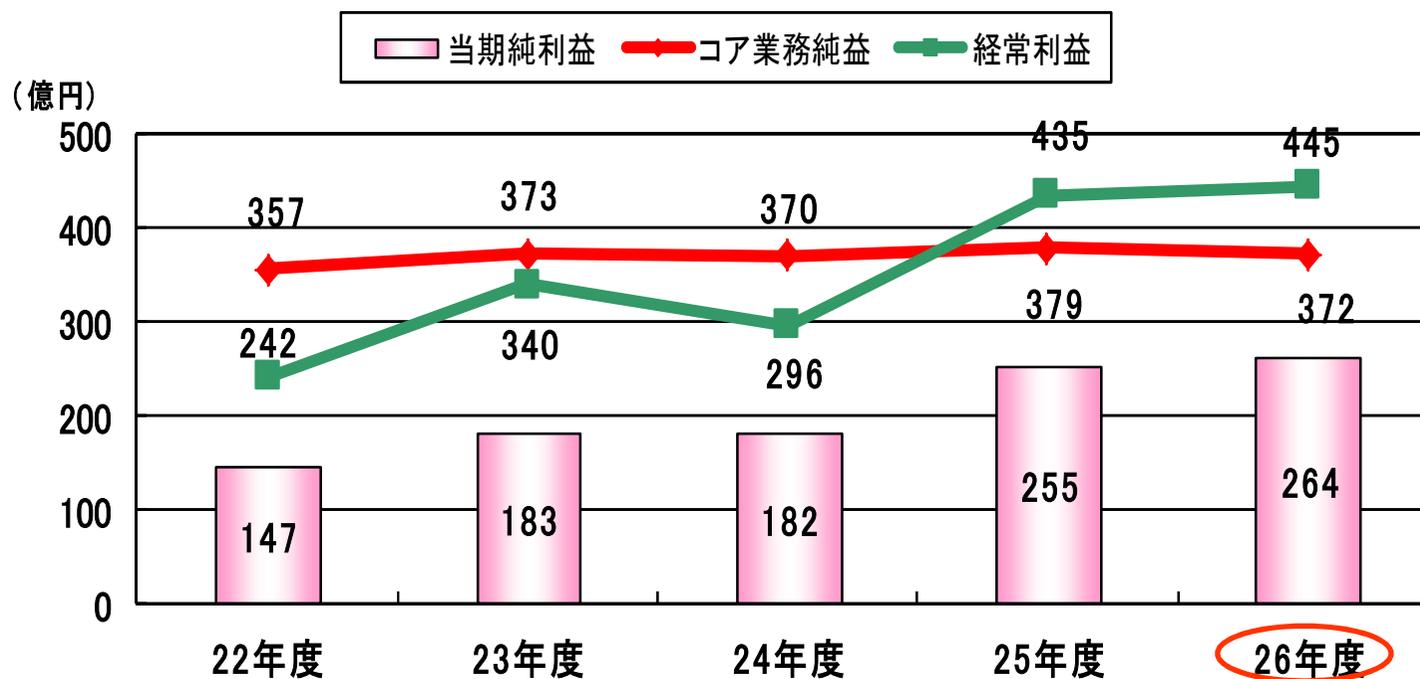
伊予銀行

# 平成26年度決算の状況

# 損益の状況

● コア業務純益は、経費の増加等により微減となりましたが、経常利益、当期純利益は信用コストの減少等により過去最高益を計上しました。

＜コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移＞



「コア業務純益」とは？

一般企業の『営業利益』に相当する指標であり、銀行の基礎的な収益力を示します。

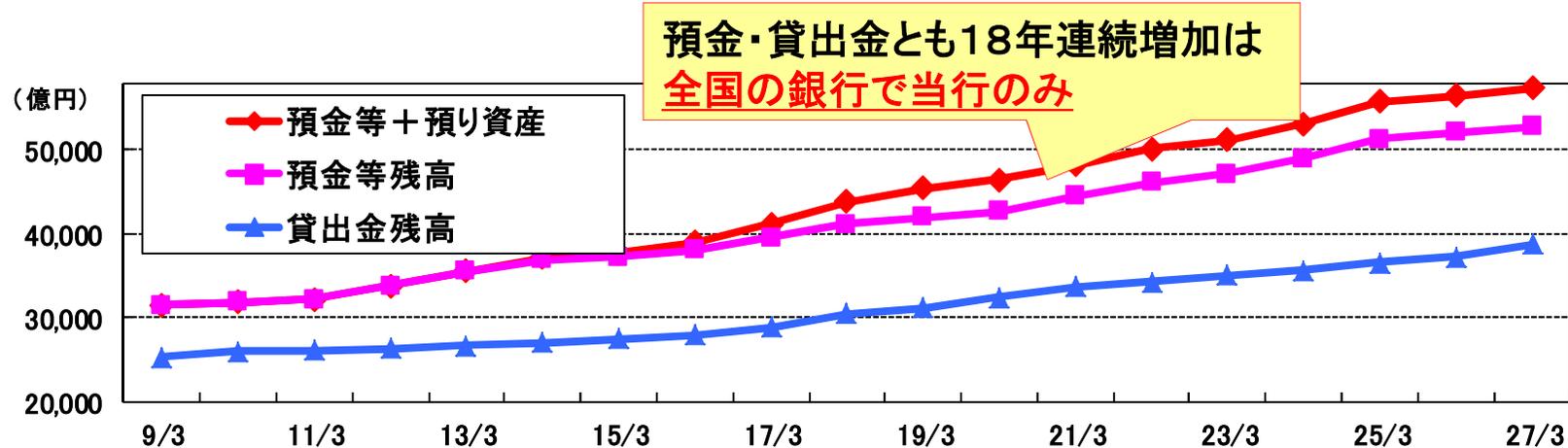
# 預金等・貸出金・預り資産残高の状況

●「預金等」「貸出金」は引き続き増加しております。

(単位:億円)

	25/3末	26/3末	27/3末	前年度比
預金等	51,318	52,158	52,817	+659
うち個人預金	32,066	32,704	33,284	+580
グループ預り資産残高	4,423	4,370	4,639	+269
うち本体預り資産残高	4,221	3,747	3,576	△171
うちいよぎん証券	201	622	1,063	+441
預金等+グループ預り資産残高	55,740	56,528	57,456	+928
貸出金	36,490	37,253	38,699	+1,446
うち個人融資	9,083	9,183	9,314	+131

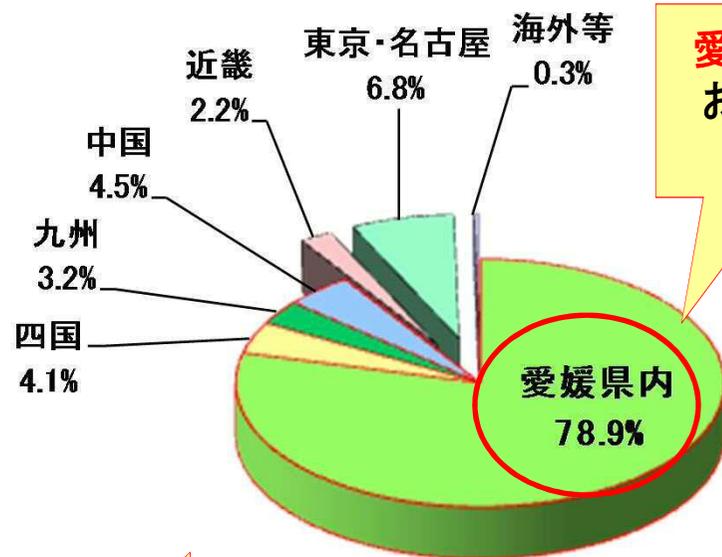
1,000億円  
突破



# 預金等の状況

● 「預金等」残高は、**5兆2,817億円（前年度比+659億円）**となりました。

＜当行預金等残高 地区別構成比(27/3末)＞

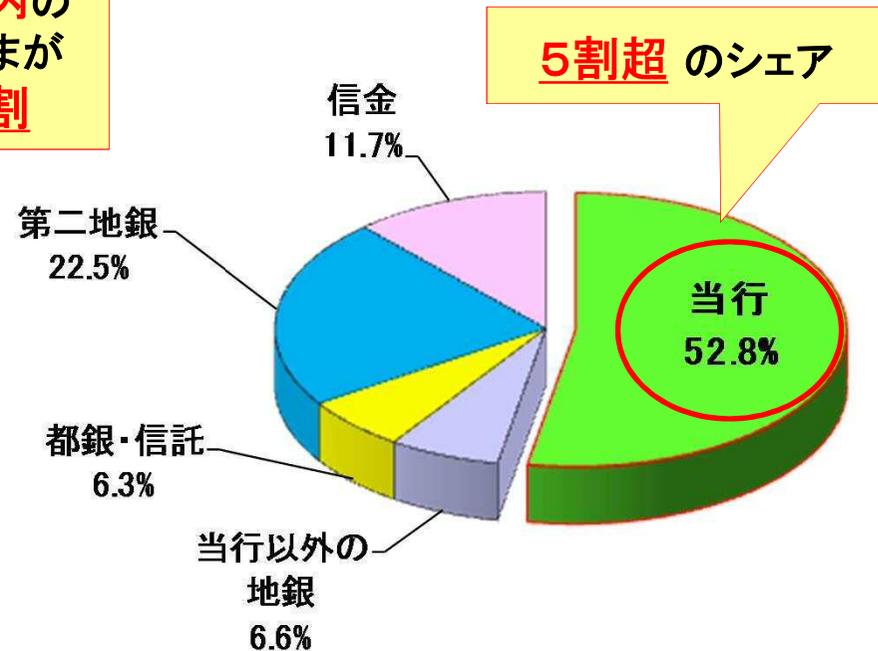


愛媛県内のお客さまが約8割

近畿、東京・名古屋、海外を除く瀬戸内圏域では約9割

＜愛媛県内預金等残高 当行シェア(27/3末)＞

(注)銀行・信用金庫でのシェア

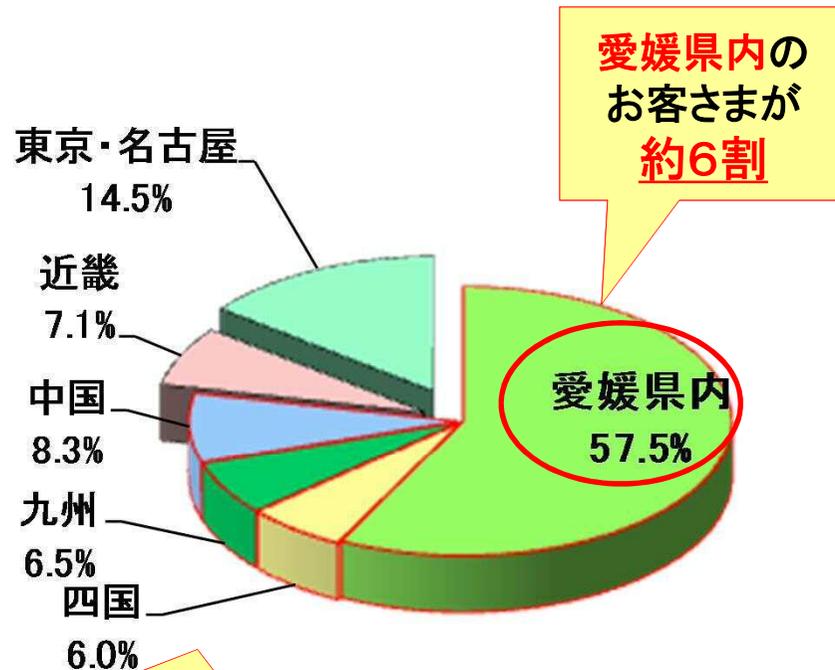


5割超のシェア

# 貸出金の状況

● 「貸出金」残高は、3兆8,699億円（前年度比+1,446億円）となりました。

＜当行貸出金残高 地区別構成比(27/3末)＞

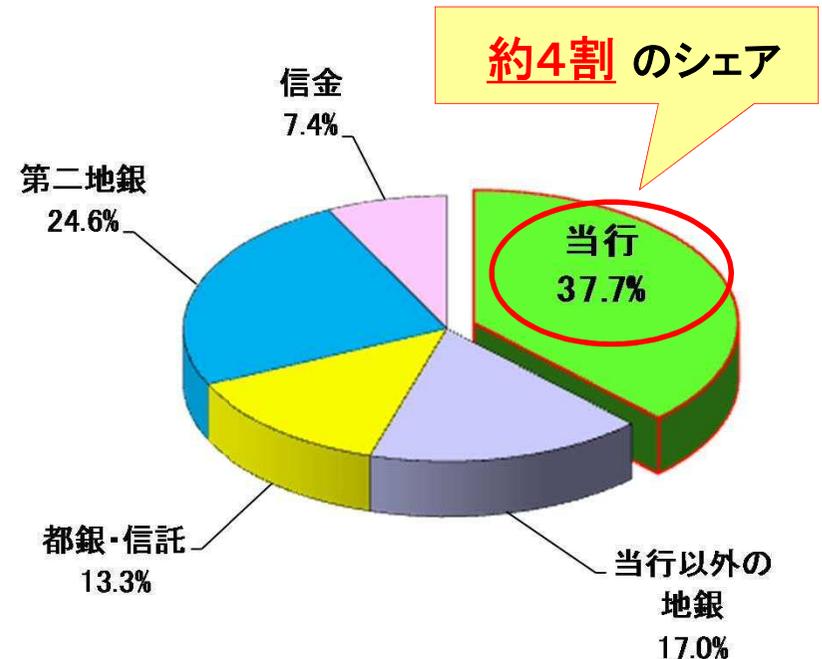


愛媛県内のお客さまが約6割

瀬戸内圏域では約8割

＜愛媛県内貸出金残高 当行シェア(27/3末)＞

(注)銀行・信用金庫でのシェア

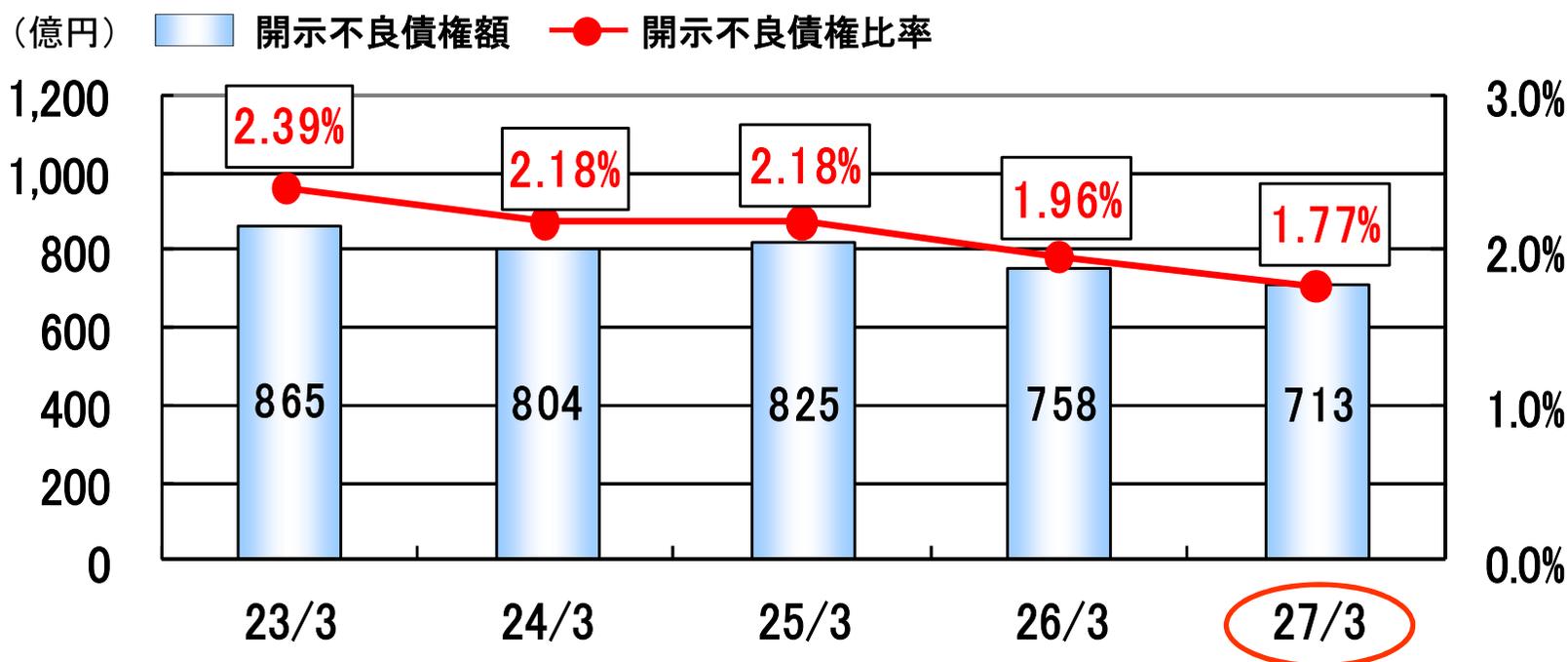


約4割のシェア

# 開示不良債権の状況

- 健全性の目安となる「開示不良債権比率」は、1.77%と引き続き低い水準を維持しております。(地方銀行平均 2.44%)
- 引き続き経営改善へのご支援に努め、不良債権の削減を目指します。

## <開示不良債権額・比率推移>



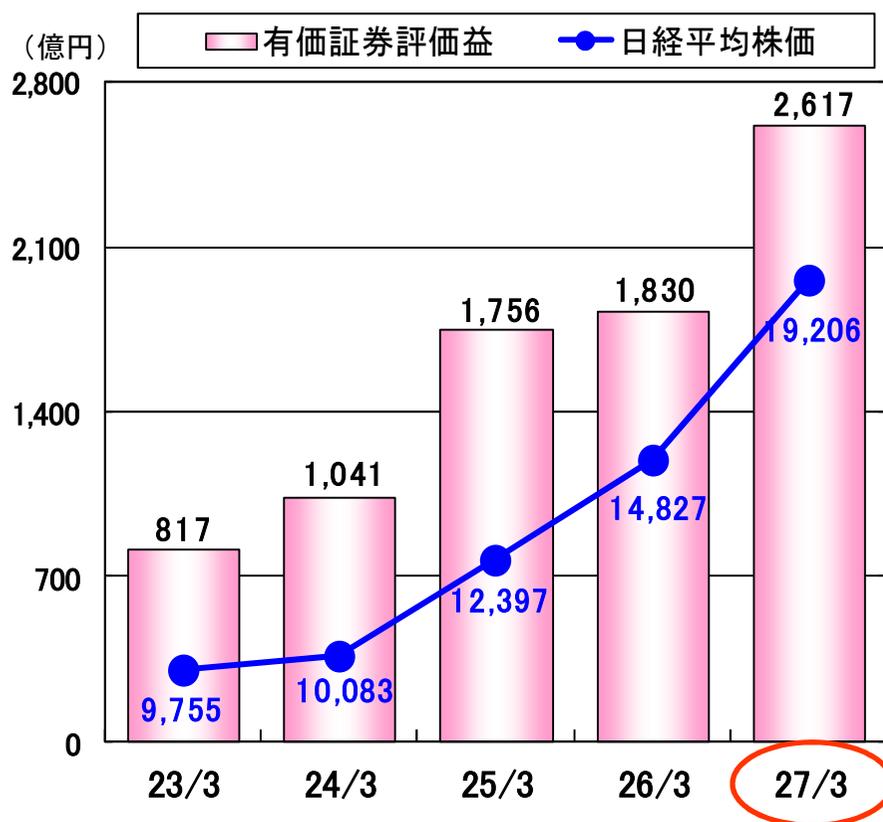
### 「開示不良債権」とは？

金融再生法により、一定の基準に基づき、金額の公表が義務付けられている債権です。

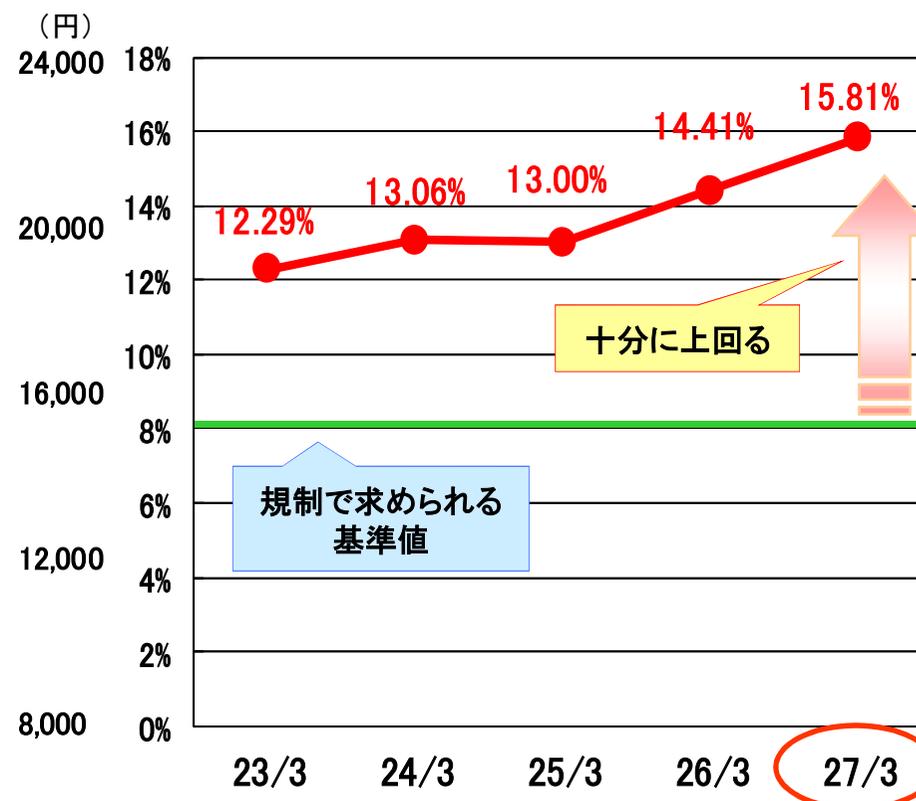
# 有価証券評価益 と 自己資本比率の状況

- 「有価証券評価益」は **2,617億円**と地銀トップクラス を維持しております。
- 「連結総自己資本比率」も **15.81%**と高水準で、健全性は十分です。

＜有価証券評価損益(単体)の推移＞



＜連結総自己資本比率の推移＞



# 財務面の特徴（26年度）

- 地銀平均と比較して健全性は十分な水準にあります。
- 今後も、各経営指標の向上を目指してまいります。

## 健全性

### 有価証券評価益（連結）

当行実績：2,668億円  
地銀平均：883億円

### 不良債権比率 （金融再生法）

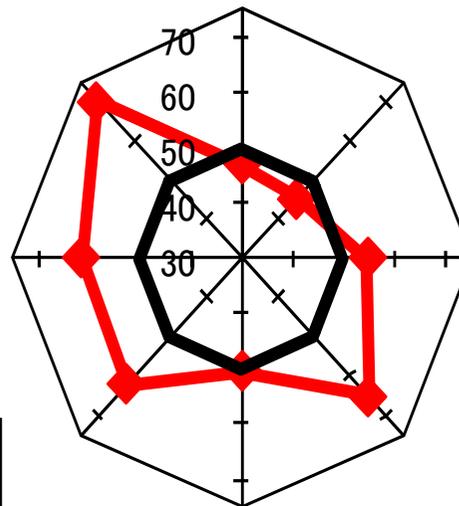
当行実績：1.77%  
地銀平均：2.44%

### ROA （コア業務純益／総資産）

当行実績：0.57%  
地銀平均：0.37%

### 預金等平残増加率（過去3年）

当行実績：8.84%  
地銀平均：10.67%



### ROE

当行実績：5.06%  
地銀平均：5.00%

## 収益性

## 成長性

### 貸出金平残増加率（過去3年）

当行実績：8.17%  
地銀平均：10.28%

### コア業務粗利益増加率（過去3年）

当行実績：2.21%  
地銀平均：▲1.45%

### OHR

（経費／コア業務粗利益）

当行実績：56.94%  
地銀平均：70.64%

＜地銀平均に対する偏差値＞

— 地銀平均 = 50  
— 当行

# 27年度の利益予想

● 27年度の「コア業務純益」は325億円、「当期純利益」は250億円を見込んでおります。

## <27年度(単体)業績予想>

(単位:億円)

	26年度年間実績		27年度年間予想			
	中間期実績		中間期予想	前年同期比		前年度比
コア業務粗利益	453	866	429	△ 24	807	△ 59
うち資金利益	424	804	395	△ 29	742	△ 62
うち役務等利益	24	50	27	+ 3	53	+ 3
経費(△)	249	493	245	△ 4	484	△ 9
コア業務純益	203	372	185	△ 18	325	△ 47
信用コスト(△)	△ 13	△ 19	△ 7	+ 6	10	+ 29
経常利益	252	445	210	△ 42	370	△ 75
当期(中間)純利益	166	264	140	△ 26	250	△ 14
経常収益	562	1,070	510	△ 52	990	△ 80



伊予銀行

# 今後の経営の方向性について

2015年度

中期経営計画

~ First Stage for 150 ~

(平成27年4月~平成30年3月)

# 10年ビジョンと中期経営計画の体系

● 「瀬戸内圏域お客さま満足度No.1の金融サービスグループ」を目指してまいります。

## 10年ビジョン

当行の持続的成長と地域の活性化

First Stage  
2015年度中計

Second Stage  
2018年度中計

Third Stage  
2021年度中計

目指す姿

瀬戸内圏域  
お客さま満足度No.1の  
金融サービスグループ

## 新中期経営計画（First Stage for 150）

基本方針①～新たな成長戦略への挑戦～

個人戦略

法人戦略

地域戦略

市場運用戦略

基本方針②～経営資源の最適化～

ICT戦略

BPR戦略

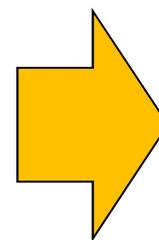
店舗・  
営業態勢戦略

人財戦略

# 中期経営計画の数値目標

- 預金等は、29年度平均残高5兆5,400億円、貸出金は、4兆650億円を計画し、**21年連続での増加**を目指してまいります。

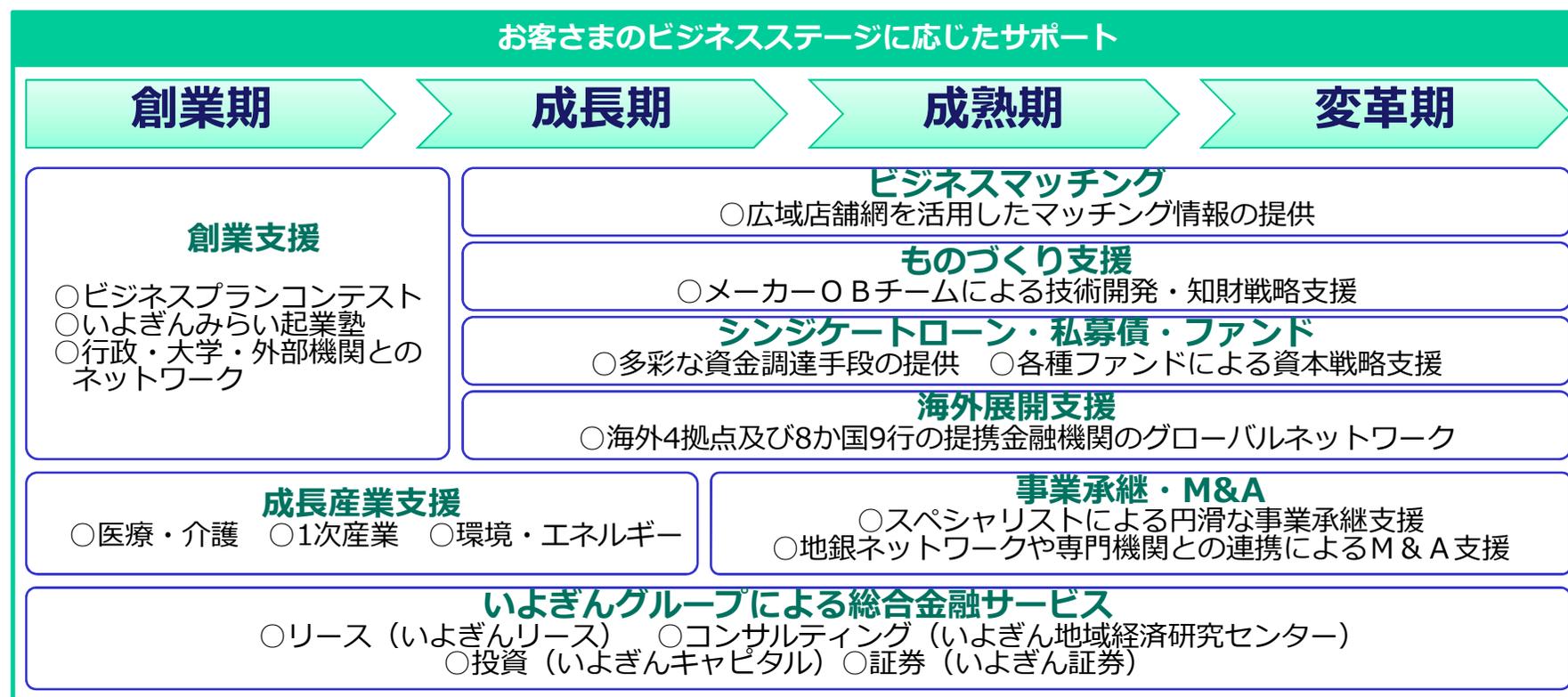
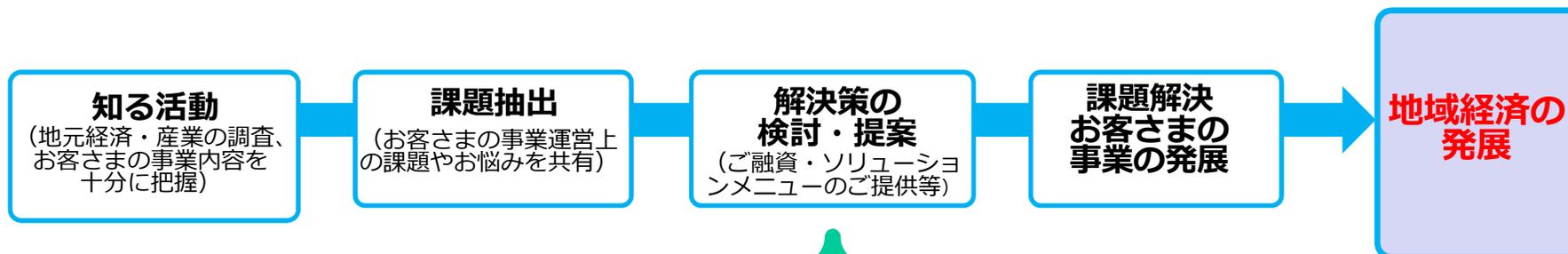
項目	26年度実績	29年度目標
当期純利益	264億円	250億円
総預金等平均残高	5兆2,477億円	5兆5,400億円
総貸出金平均残高	3兆7,839億円	4兆650億円
連結預り資産残高	4,639億円	5,700億円
コアOHR	56.94%	60.0%以下
連結総自己資本比率	15.81%	15.0%以上
不良債権比率	1.77%	2.0%以下
ROE（株主資本ベース）	7.48%	6.0%以上



# お客さまのビジネスステージに応じたサポート



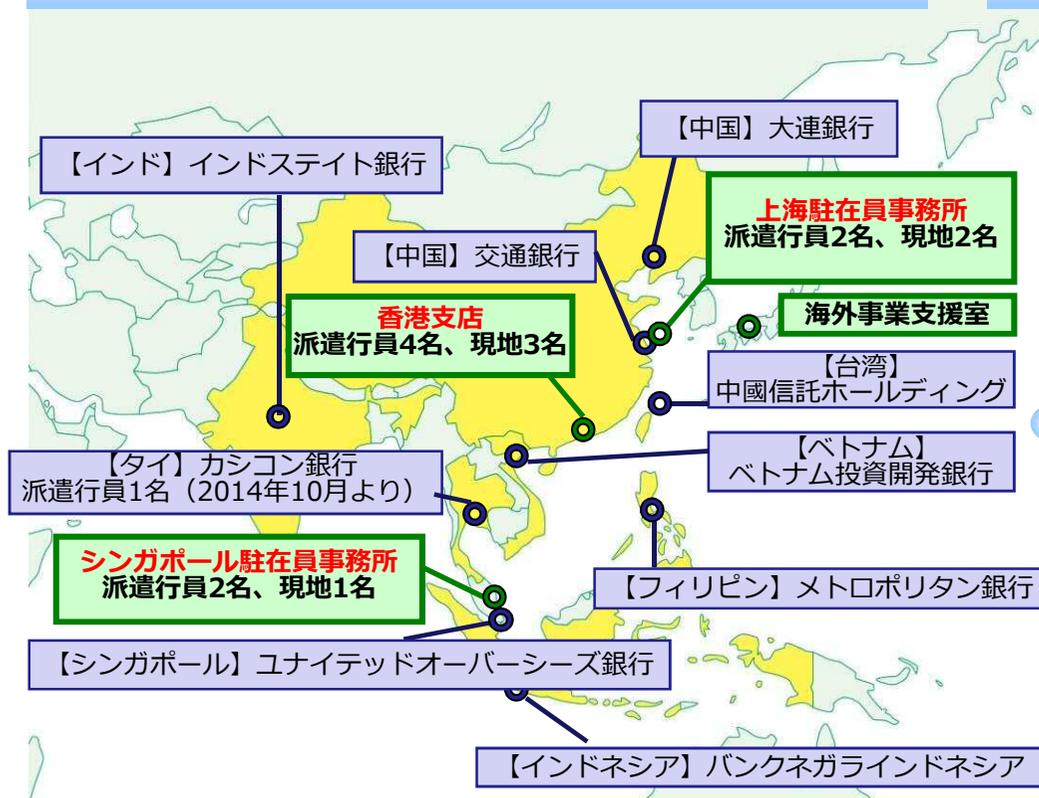
● ビジネスステージに応じて、いよぎんグループ全体で総合金融サービスを提供してまいります。



# アジアの成長を取り込む国際化サポート

- 香港・上海・シンガポールのアジア3拠点と国内外の金融機関等のネットワークにより地域やお客さまの国際化をコーディネートいたします。

## 当行のアジアネットワーク



※インドステイト銀行、ベトナム投資開発銀行は国際協力銀行を通じた業務協力

## 国際化支援内容

- ✓ 現地法人の資金調達サポート
  - ✓ 現地での口座開設サポート
  - ✓ 現地アテンド
  - ✓ 市場調査、その他情報提供
  - ✓ 海外ビジネスセミナーの開催
  - ✓ 海外商談会の開催
- 等

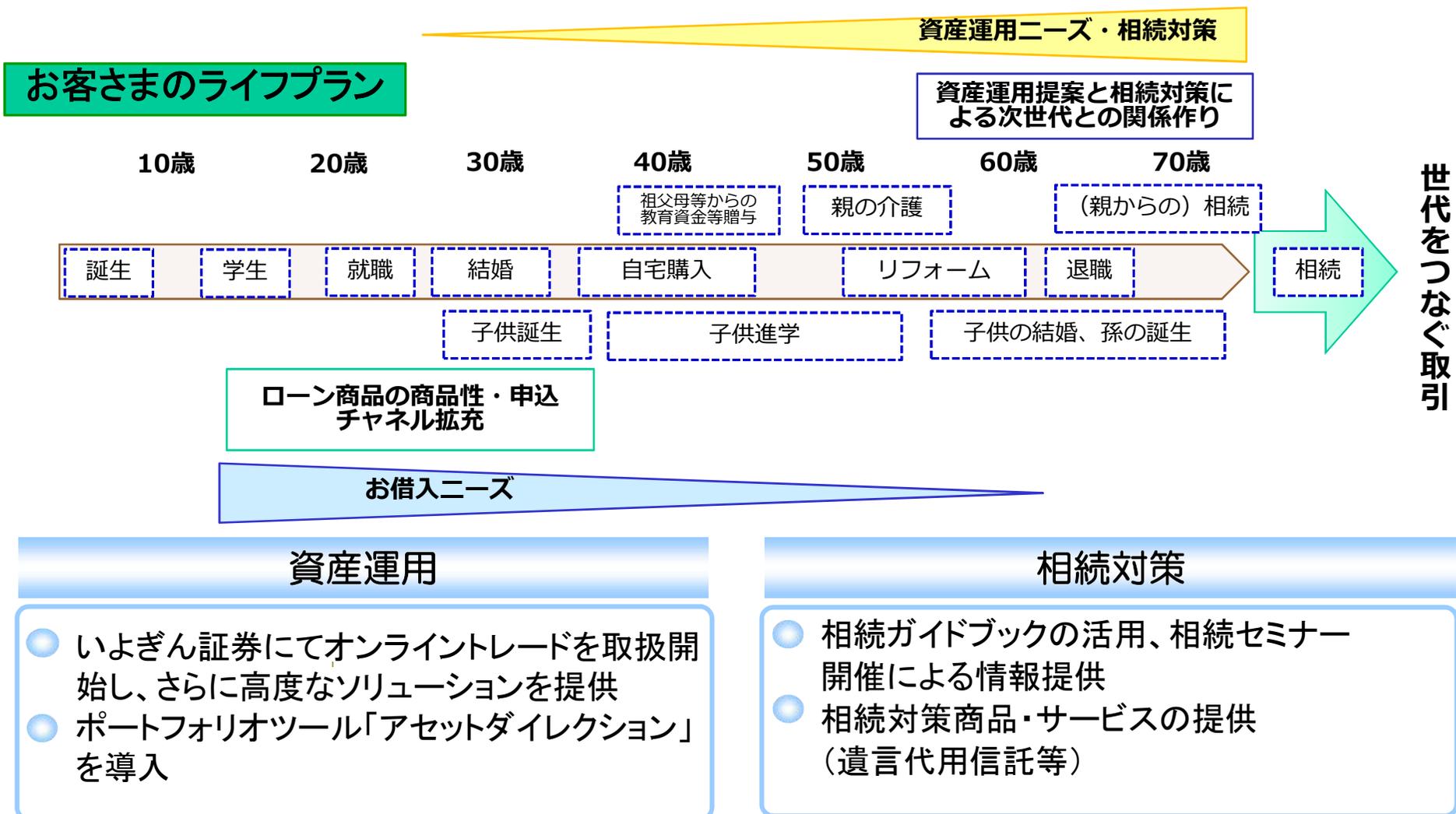
## ● お取引先様の海外ビジネス支援実績（26年度）

海外進出	19件	タイ7件、中国2件、香港・台湾・シンガポール・マレーシア・インドネシア・ベトナム・カンボジア・ミャンマー・ニュージーランド・米国各1件
新規貿易先開拓	15件	中国5件、香港2件、台湾2件、タイ2件、韓国、シンガポール、ベトナム、スリランカ各1件

# お客様のライフプランに応じたサポート

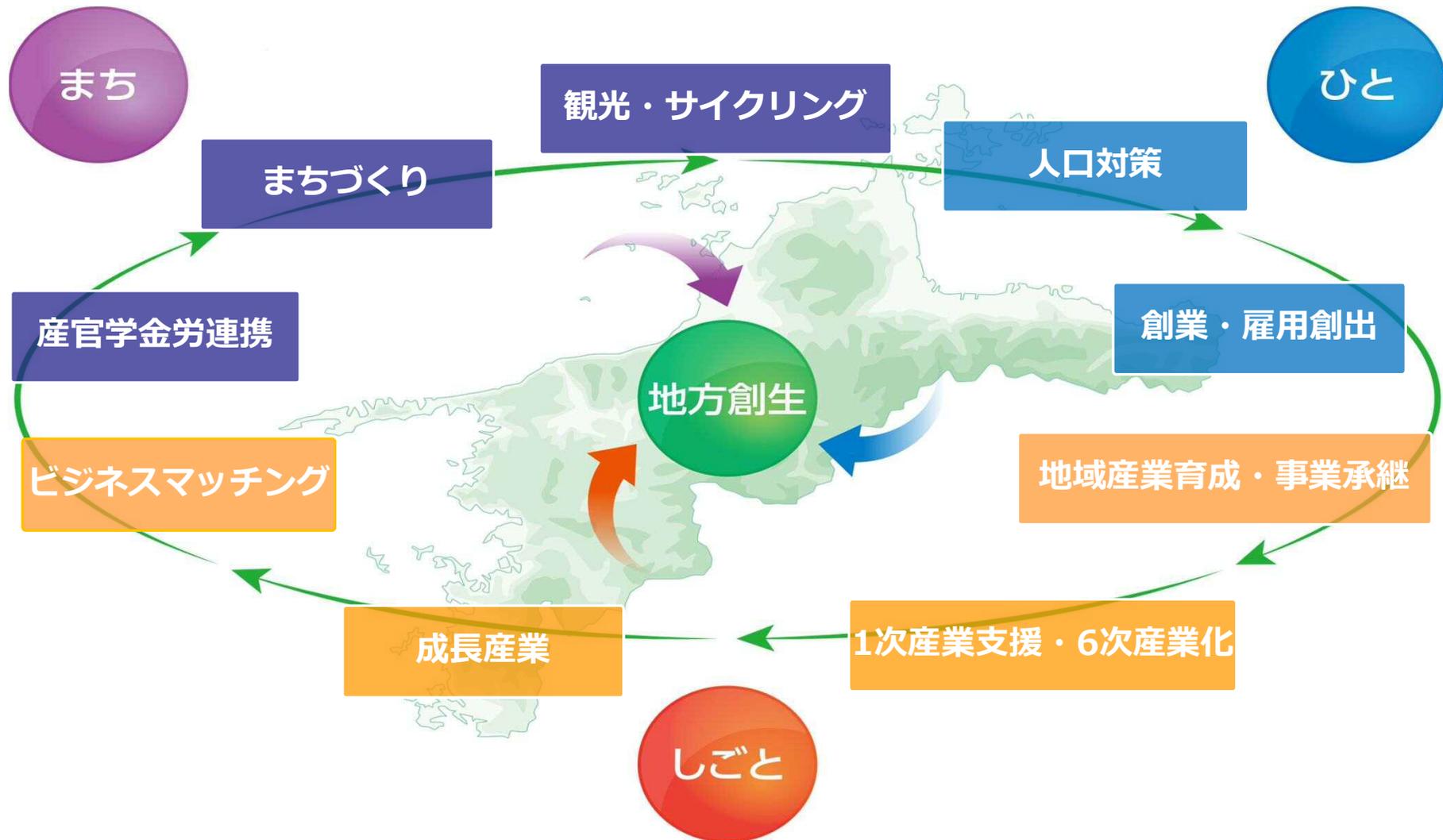


● いよぎんグループが一体となって、ライフプランに応じたニーズをまるごとサポートいたします。



# 地域経済活性化に向けた取組み

● まち・ひと・しごと創生総合戦略と連動した地域経済活性化への取組みを強化し、いよぎんグループが一体となって、**地域の未来を思いっきり応援します！！**



# ダイバーシティへの取り組み

- 女性の活躍推進、障がい者・高年齢者・外国人の雇用推進に取り組むことで、組織の活性化を図ってまいります。

## 女性活躍推進

- 女性行員の更なる活躍推進のために「女性活躍推進室」および「プロジェクトチーム」を設置



- ✓ 女性リーダー育成を目的に「マドンナ未来塾」開講
- ✓ 女性管理職比率10%超へ  
(平成27年3月末:5.8%)
- ✓ 女性平均勤続年数10年超へ  
(平成27年3月末:9年7ヶ月)

## いよぎんChallenge&Smile工房

- 障がい者雇用を積極的に推進するため、専門事業所「いよぎんChallenge&Smile工房」を設置



- ✓ 7名の作業スタッフ(障がいのある方)を雇用  
(平成27年3月末)
- ✓ お客さま向けPR品を製作
- ✓ 障がい者雇用比率を2.2%以上へ  
(平成27年3月末:2.05%)

## 店舗について

- 「保険プラザ」を新居浜支店内に開設
- 「エミフルMASAKI支店」をリニューアルオープン
- 「東野支店」を新築移転
- 「東京支店」を新築移転

## 商品・サービスについて

- 遺言代用信託「いよぎん家族の絆信託」
- 教育ローン・マイカーローンの商品内容改定
- 女性行員のプロジェクトチームが企画した  
投資信託「女性活躍応援ファンド『椿』」
- 教育資金一括贈与預金「いよのかけ橋」
- 結婚・子育て資金一括贈与預金「いよのめぐみ」

## 行政との連携・ビジネスマッチングについて

- 愛媛県・県内各市町との連携
- 国内外で多数の商談会開催

## CSR活動について

- 伊予銀行社会福祉基金
- 地域文化活動助成制度
- 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」
- 「森のあるまちづくり」活動
- いよぎん金融教育教室
- エコノミクス甲子園「愛媛大会」
- IRCニュー・リーダー・セミナー
- 当行テニス部「日本リーグ3位入賞」
- 「愛媛FC」応援イベント

# 株主の皆さまへの利益還元

- 当行では、株主さまへの利益還元を積極的に実施しております。

## 配当

26年度の期末配当を2円引上げ  
27年度の年間配当も12円を予想

## 株主さまご優待制度

100株以上1,000株未満保有の株主さま  
ご優待品を贈呈（今年度は今治タオルを贈呈）



1,000株以上保有の株主さま

3つのうちいずれか1つをお選びいただけます

- 愛媛県産品
- 株主さまご優待定期預金
- 寄付



# *Challenge & Smile*

新しい力が、明日をつくる。



本資料における、将来の業績につきましては、発表時において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。

将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。



伊予銀行

# 参考資料

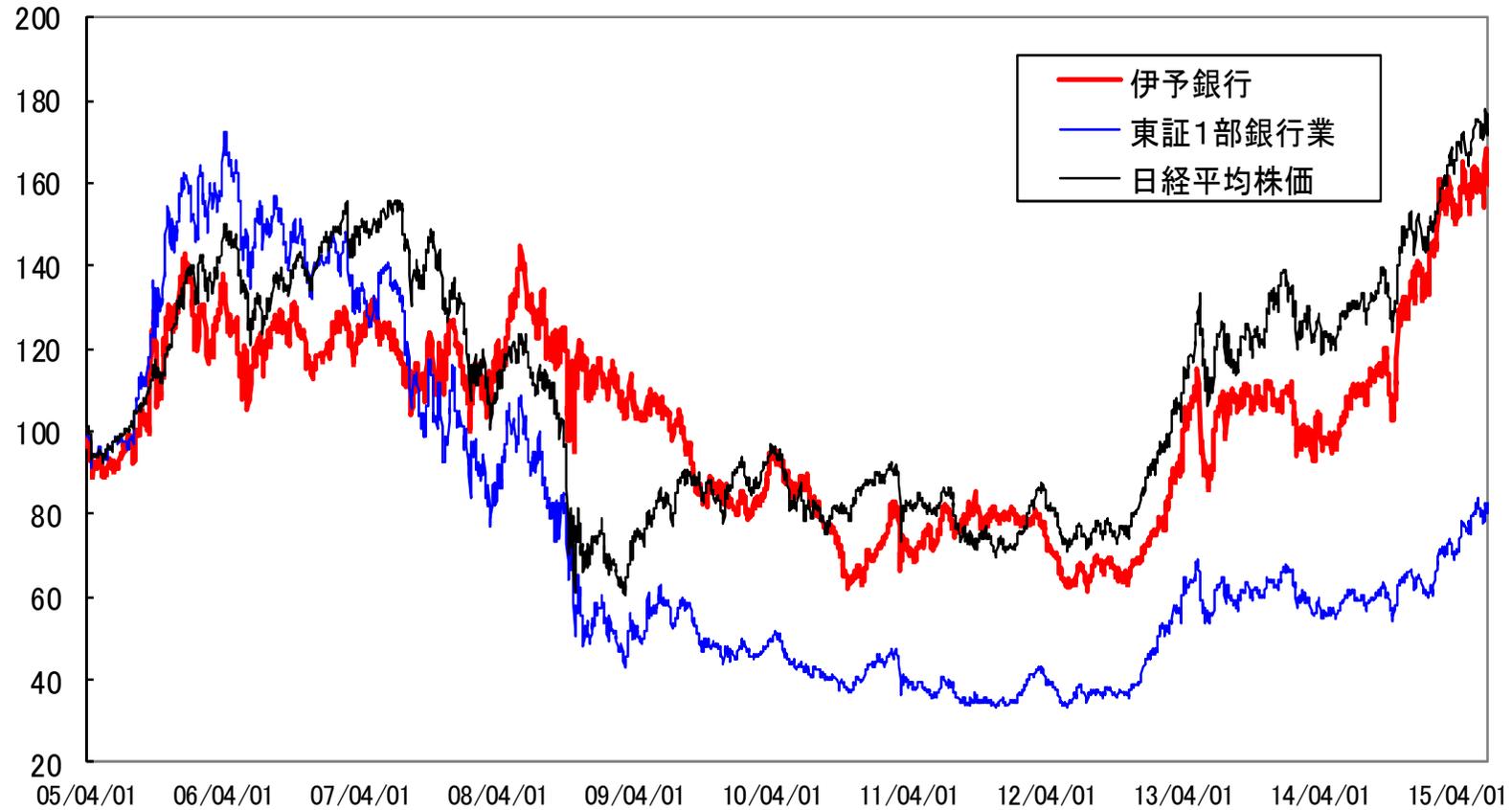
# 各種株価指標

(平成27年6月30日現在)

株価	1,504円
配当利回り(実績)	0.79%
1株配当(実績)	12.0円
PER(実績)	17.60倍(連結)
PBR(実績)	0.82倍(連結)
1株あたり利益	85.41円(27/3)
1株あたり純資産	1,825.62円(27/3)
時価総額(発行済み株式総数ベース)	4,869億円

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年6月30日 までの実績
年初来高値	897円	804円	773円	1,088円	1,329円	1,586円
年初来安値	585円	624円	577円	686円	874円	1,244円
配当実績(年度)	8.0円	9.0円	10.0円	10.0円	12.0円	12.0円 (年間予想)

# 当行株価パフォーマンス



日経平均株価、東証1部銀行業株価、伊予銀行株価推移グラフ(2005年4/1～2015年6/30。2005年4月1日を100として指数化)  
(※ 東証1部銀行業株価は、東証1部上場の銀行銘柄全ての時価総額加重平均指数)

# 当行株価の推移

